

TIF研究会

ウクライナ侵攻と朝鮮半島情勢



プーチンの戦争



戦後秩序への挑戦 核の恫喝 欧州の危機

急展開はじめた金正恩の核ミサイル戦略



金正恩の核ドクトリン登場 2022. 9

- ①核兵器や大量破壊兵器で攻撃されたり、差し迫ったと判断された場合
- ②国家指導部や核戦略指揮機構が攻撃されたり、差し迫った場合
- ③国家の重要戦略対象に致命的な攻撃があった場合
- ④戦争の主導権を掌握するため必要となった場合
- ⑤国家の存立と人民の安全に破壊的事態が生じ場合

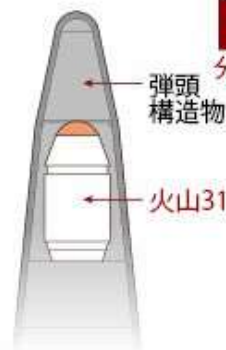
2023. 3. 28



北朝鮮の戦術核弾頭「火山31」公開

28日公開
火山31

- 直径:40~50cm
- 威力:10kt (1kt=TNT火薬1000tの爆発力)
- 分析推定内容 • 各種武器体系搭載目的で小型化



「火山31」主要投発手段 (搭載武器)

※一部ミサイル大きさ推定



KN-23	KN-24	KN-25	ファサル1	ファサル2	ヘイル	ミニSLBM
北朝鮮版 イスカンデル	北朝鮮版 エイ タクムス	600mm 超大型 放射砲	巡航 ミサイル	巡航 ミサイル	無人潜水艇 (3月21~ 23日 試験発射、 北主張)	潜水艦 弾頭ミサイル
射程距離 800km	400km 以上	400km	1500km 推定	2000km 推定		600km '22.9月 発射基準





ウクライナでロシアが消費するの砲弾

緒戦…1日あたり、5万発から7万発

現在…1万から2万発

2022年は1000万発→2023年は700万発

ロシアの砲弾生産能力は年間、250万発

北朝鮮からの供与、国内軍需工場は約180か所

武器輸出国、北朝鮮 シリア、イラン、イエメン、パキスタンなど

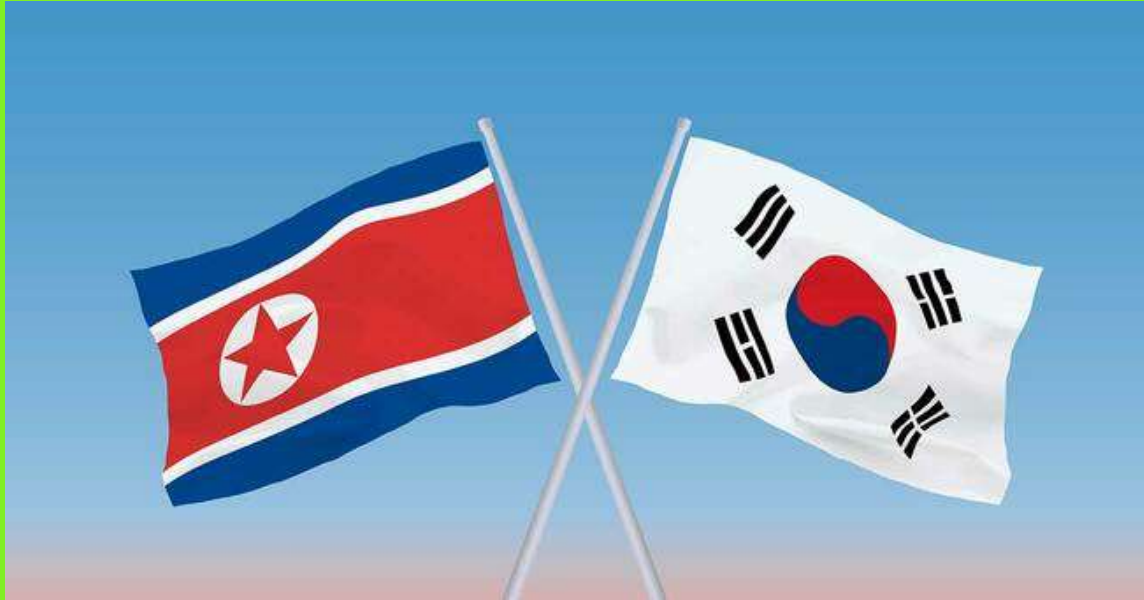
露朝の接近をどうみるか

【プーチン大統領】

- ・戦争長期化で武器を継続的に供与できる国は北朝鮮のみ
- ・中朝露の思惑は必ずしも一致していないが、反米では利害が一致
- ・北朝鮮の「危ない核」は米国に向いている。ロシアにとっては好都合

【金正恩総書記】

- ・露朝接近は願ってもない対米カード
- ・ミサイル技術、原油、食料、軍事衛星など、欲しい技術や物資は多い
- ・ロシアの核戦略がNATOを抑止した→戦場の核の教科書



尹大統領の「独自核」保有宣言

2022. 5以来の拡大抑止強化の要請

米国はあくまでも「再配備」「核共有」を否定

韓国の不満の高まり／韓国世論の70%以上が核保有賛成

「独自核」宣言に韓国世論のアレルギーなし

米韓の拡大抑止強化



2023.4.26 ワシントン宣言 骨子



米韓相互防衛をかつてなく強固にする
韓国は米国の拡大抑止を**完全に信頼**し、米国の核抑止を**永続的に信頼**することの重要性や必要性、利益を認識する。

米国は朝鮮半島でのいかなる核使用に対しても米国の核政策と一致する形で、韓国と協議することにあらゆる努力をする。韓国は**核拡散防止条約(NPT)の順守**を再確認した。

拡大抑止を強化するための「核協議グループ」(NCG)を設立する。米国による有事の際の**核作戦**について、**実施・計画策定に米韓が共同で取り組み**、合同演習と訓練を向上させる。

米国は**戦略原潜の派遣**など朝鮮半島への戦略原潜の派遣など朝鮮半島への戦略兵器の定期的な展開を一層強化し、米韓軍の連携を拡大・深化させる。

核協議グループ(NCG)初会合 7/18

NCGとは

韓国の通常戦力と米国の核戦力を結合した共同作戦を企画、実行するための協議

米国 戦略原潜(ケンタッキー)釜山寄港

韓国 拡大抑止の共同企画、共同実行、共同演習

北朝鮮 ICBM「火星18」発射(7/12) 国防相「核使用条件に該当」(7/20)









朝鮮半島有事

